

蒲田駅周辺地区グランドデザイン 改定の概要

1 改定の背景・目的

●背景

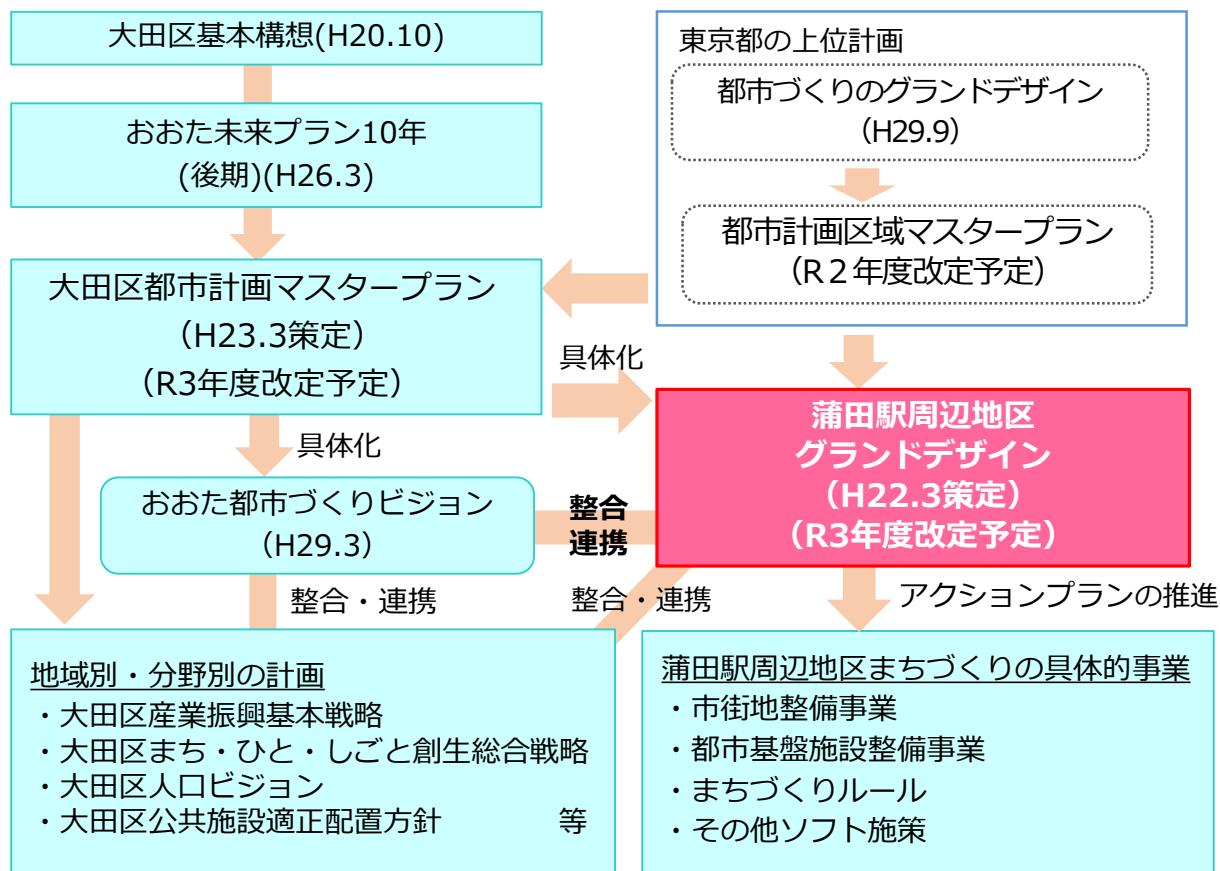
蒲田駅周辺地区グランドデザインは、平成22年（2010年）の策定からまもなく10年が経過します。策定以降、区内外を取巻く社会情勢や、蒲田駅周辺におけるまちづくりの動向に変化が生じています。また、駅や駅前広場など、蒲田駅周辺の都市基盤施設を一体的に捉えたまちの機能更新が必要となっています。

●目的

現在のグランドデザインの検証を行うと共に、更なるにぎわいや回遊性の向上を図り、将来に渡り持続可能な発展を目指すため、蒲田駅周辺地区グランドデザインの改定に向けた検討を令和元年度（2019年度）から開始します。

2 蒲田駅周辺地区グランドデザインの位置付け

蒲田駅周辺地区グランドデザインは、蒲田駅周辺地区を対象として、区全体の都市計画の基本計画である「大田区都市計画マスタープラン」を具体化する計画として位置付けられます。

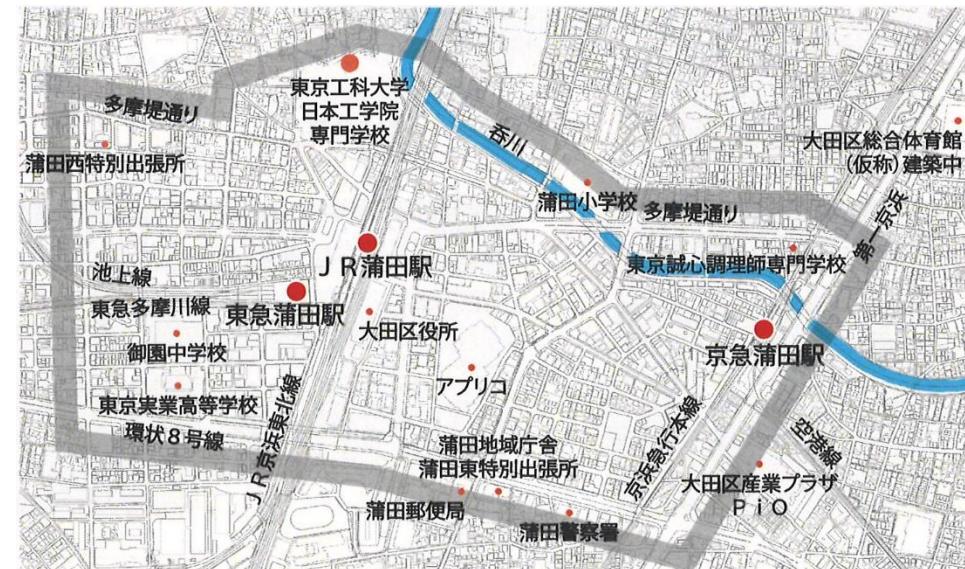


大田区都市計画マスタープラン（H23）における蒲田地域の位置づけ
 羽田空港の近接性を活かしたにぎわいのある商業業務の拠点としてのまち

- ・羽田空港の再拡張・国際化にあわせて、蒲田駅を中心とする地区の再整備と空港に近接する利点を活かした取組によるまちの発展が期待されます。
- ・JR蒲田駅や京急蒲田駅周辺は、「にぎわいあふれる多文化都市、誰もが安心して気持ちよくすごせる人にやさしい蒲田」の実現をめざしたまちづくりを推進します。
- ・JR蒲田駅周辺は、大田区の中心拠点のひとつであり、居住者や来街者でにぎわうまちとして、商業業務機能の集積を促進するとともに、駅東西自由通路の設置や駅前広場の再整備などの空間づくりを進めます。
- ・JR・東急蒲田駅～京急蒲田駅間を中心とした、周辺商業地間の回遊性の向上を図り、JR蒲田駅周辺と京急蒲田駅周辺の一体性を確保します。
- ・商業業務機能と良質な都市型住宅が調和したまちの形成をめざし、建物の共同化や建替えの促進を図ります。

3 グランドデザインの対象範囲

現在のグランドデザインの対象範囲は、JR・東急蒲田駅を中心とした約80haです。具体的には、東は第一京浜の沿道、西は蓮沼駅手前付近、南は環状8号線の沿道、北は呑川及び多摩堤通り沿道が対象範囲となっていますが、対象範囲外の施設等を考慮します。



4 現行の蒲田駅周辺地区グランドデザインの構成

- 1章 グランドデザイン策定にあたって**
 - 1. グランドデザイン策定の背景
 - 2. グランドデザイン策定の目的
 - 3. グランドデザイン策定のエリア
 - 4. グランドデザイン策定の位置づけ
- 2章 蒲田駅周辺地区の現況と特徴**
 - 1. 蒲田駅周辺地区の現況
 - 2. 蒲田駅周辺地区の特徴
- 3章 まちの将来像とまちづくりの基本方針**
 - 1. まちの将来像
 - 2. まちづくりの基本方針
- 4章 まちづくりの目標**
 - 1. 目標の設定
 - 2. 12の目標
- 5章 アクションプラン**
- 6章 蒲田駅を中心とする地区整備について**
 - 1. 課題解決の方向性
 - 2. 課題解決の考え方
 - 3. 当面の対応と整備の方向性
- 7章 グランドデザインの実現に向けて**
 - 1. 区民・事業者・行政の協働によるまちづくりの推進
 - 2. 駅を中心とするエリアの今後の進め方
 - 3. アクションプランの実施手順
 - 4. パンフレットによる広報

5 蒲田駅周辺地区グランドデザインの改定の進め方

- 骨子案では、課題・将来像・基本方針・目標の改定内容を取扱う予定です。
- 素案および案では、上記に加えて、アクションプラン・蒲田駅を中心とする地区整備・実現化方策 も含めた改定内容を取扱う予定です。

改定素案（令和2年度／2020年度）・改定案（令和3年度／2021年度）の対象

改定骨子案（令和元年度／2019年度）の対象

